



後期 職業体験・現場実習に向けて

2学期が始まって1ヶ月、秋の深まりが感じられるようになりました。スポーツ大会や修学旅行、宿泊学習が終わると、いよいよ進路に関する活動や行事が始まります。以下は、学年ごとの体験・実習のねらいです。

1年生

職業体験と校内実習があります。これらの活動を通して、働くことの基礎を学んでいきます。

2年生

いろいろな場所での体験活動や現場実習を通して、自分に合った進路を具体的に考えていきます。

3年生

卒業後の利用を見据えての最後の現場実習になります。それぞれの課題を整理し、卒業後の準備を進めていきます。

初めての職業体験、初めて行く現場実習先など、子どもたちにとって大きな不安や緊張が伴う活動が始まります。些細なことで気持ちが不安定になったり、いつもと様子が違ったりすることがあるかと思えます。そういったときには、ぜひ、実習に向けて家庭でも子どもと話をする時間を設け、気持ちが落ち着けるよう温かい言葉を掛けていただきたいと思います。また、仕事内容や目標についても確認していただけるとありがたいです。

生徒たちが実習を通して大きく成長できるよう、学校と家庭で協力し支援していけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【後期 職業体験・現場実習先】

福祉事業所	<input type="checkbox"/> ワークセンターこでまり	<input type="checkbox"/> かなやの里療護園
	<input type="checkbox"/> 障がい者サポートセンターのぞみ	<input type="checkbox"/> パン工房
	<input type="checkbox"/> ワークライフ・ポニーズ	<input type="checkbox"/> 南さくら工房
	<input type="checkbox"/> 障がい者就労支援センターWITH	<input type="checkbox"/> りんどうの里
	<input type="checkbox"/> りとるらいふ「きら」	
一般事業所	<input type="checkbox"/> 原信美守店	



【確認とお願い】

上越市や妙高市にある様々な事業所が、体験や実習を受け入れてくださっています。しかし、実習や体験を受け入れているからといって、卒業後、必ずその事業所を利用できるとは限りません。(一般事業所も同様です。)他の利用者の状況や職員の配置などによって、毎年受け入れ可能な人数が変わります。ただ、体験や実習を通して生徒の特性を理解してもらい、受け入れの準備を進めてもらうことはとても大切です。

進路指導部では、卒業後に生徒がスムーズに移行できるよう、事業所側と密に連絡を取りながら、保護者の皆様の意向を伝えたり、事業所の現状を皆様にお伝えしたりしていきます。保護者の皆様は、実習中に事業所に顔を出していただき、仕事をしている様子を見たり、事業所の雰囲気を感じたりしていただけたらと思います。事業所の方に、保護者の方も知っていただくことが、とても大事です。

進路講演会「相談支援専門員の役割と活用」を開催しました。

7月24日（水）に3名の講師の方をお招きし、講演会を開催しました。

相談支援専門員の方々から「相談支援専門員の役割」や「モニタリングでやれること」、「意思決定をどのように支援するか」をテーマにお話しをいただきました。また、相談を受ける上で、相談支援専門員として大切にしていることや、解決できないニーズを「地域課題」として行政や関係機関と連携しながら解決することの重要性などもお話しいただきました。

講演会に参加された保護者の皆様からは、「相談支援専門員の方を身近に感じました。」「モニタリングのときに、もっと話をしたいと思います。」等、たくさんの感想をいただきました。多くの保護者の皆様からご参加いただき、ありがとうございました。



社会福祉法人ほっと妙高
相談支援専門員
金井 由香 様



社会福祉法人みんなでききる
相談支援専門員
江部 健幸 様



新潟県障害者地域生活支援
センター圏域アドバイザー
平原 朝子 様

「第3回進路を語る会～グループホーム見学～」

10月8日（火）に、社会福祉法人上越福祉会のにしき園が運営しているグループホーム「ホームオオールリ」へ見学に行きました。サービス管理責任者の片田様からグループホームの概要を説明していただいた後、居室の様子を見学させていただきました。

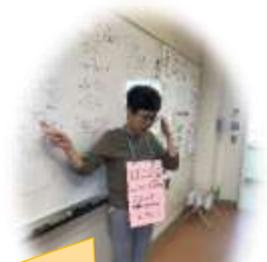
11月にはPTA施設見学として、上越市内のグループホームの見学を計画しています。詳細は後ほど配布させていただきます。皆様の参加をお待ちしております。



進路ワーク・授業の様子から

9月の進路ワークは、「インターネット・スマホの上手な使い方」をテーマに授業を行いました。高等部の生徒も、家族のスマートフォンやタブレットを使い「ユーチューブ」を見たり、「LINE」や「オンラインゲーム」を通して、いろいろな人とつながっていたりする様子が見られます。

しかし、生徒からは、スマホの良い面（楽しい、友だちとすぐにつなげる、いつでもできる、いろいろな人と話せる等）は出てくるものの、スマホの危ない面については、ほとんど出てきませんでした。そこで、「スマホも道具の1つであり、間違った使い方をする事で自分も相手も傷つけてしまうことがある。」と話しをしました。また、生徒と一緒に「インターネットを通して、自分の大切な情報（個人情報）を流さない。友だちの情報も流さない。」ことを確認しました。ご家庭でも、スマホ等の使い方を、今一度確認していただきたいと思います。



自分の情報をインターネットに流すと、どうなるかな？
名前や電話番号をぶら下げて、外で歩いていることと同じだよ～。